

建設工事で若手技術者を育成、現場代理人を評価する 総合評価落札方式の試行について

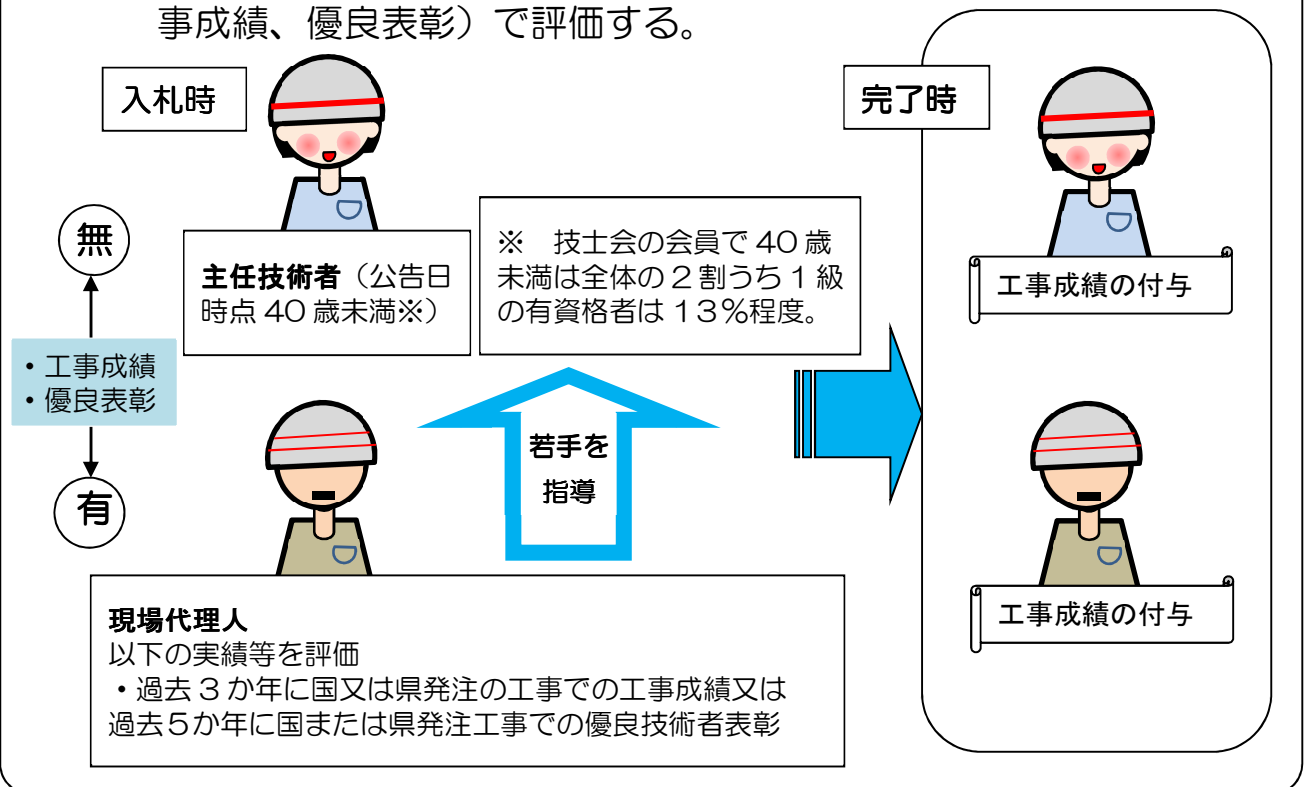
1 現状と課題

若手入職者の減少により技術者の高齢化が進行し、建設業者の施工能力の低下や品質確保への影響が懸念。⇒ **優秀な技術者の確保・育成が課題**

2 取組内容等

現行の総合評価落札方式では、配置技術者の工事成績や表彰履歴を評価していることから、実績がなく工事成績や表彰履歴を持たない若手技術者を配置することが敬遠されてしまう。この取組により、若手技術者の配置を容易にし、技術の継承を進めるとともに、活躍の場を確保する。

取組：実績のない若手技術者を配置した場合、現場代理人の持つ実績（工事成績、優良表彰）で評価する。



3 実施時期

平成 27 年 10 月 1 日以降の公告案件で実施

4 効果

総合評価落札方式で、経験のない若手技術者を主任（監理）技術者として配置し、かつ経験豊富な技術者を現場代理人として配置することで、若手技術者の技術力を向上させるとともに、実績の確保につなげる。